

シャゴウ, シラナミは三種共7~8月にかけてのGWRが低く、採卵が不可能であった。

(5) 底生生物調査は8月29日に区域内水路部5地点でおこなった。また同一地点で粒度組成と塩酸処理後の残留率についても調査した。結果は前回(1985年)の同地点でのそれとおおまかにはほぼ同傾向であった。

(6) 水質等環境調査は保護水面区域内で下記の項目について実施した。

水温, 比重, 天気率, 風向, 栄養塩等の水質, クロロフィル量及び透明度。

水温の年平均は25.0℃で、昨年は25.1℃であった。他の項目は例年に比較してそれ程大きな差異はなかった。

参考文献

- 沖縄県水産試験場八重山支場 (1975): 昭和49年度川平保護水面調査報告書。
____ (1976): 昭和50年度同上誌。
____ (1977): 昭和51年度同上誌。
____ (1978): 昭和52年度同上誌。
____ (1979): 昭和53年度同上誌。
____ (1980): 昭和54年度同上誌。
____ (1981): 昭和55年度同上誌。
____ (1982): 昭和56年度同上誌。
____ (1983): 昭和57年度保護水面管理事業報告書, 3-29pp.
____ (1984): 昭和58年度同上誌, 3-26pp.
____ (1985): 昭和59年度同上誌, 3-30pp.
____ (1986): 昭和60年度同上誌, 3-33pp.
村越正慶・川口四郎 (——): 日水誌, 52, 1701-1707.
____ (——): 同上誌, 52, 1709-1714.
MURAKOSHI, M (——): Galaxea, 5, 239-254.